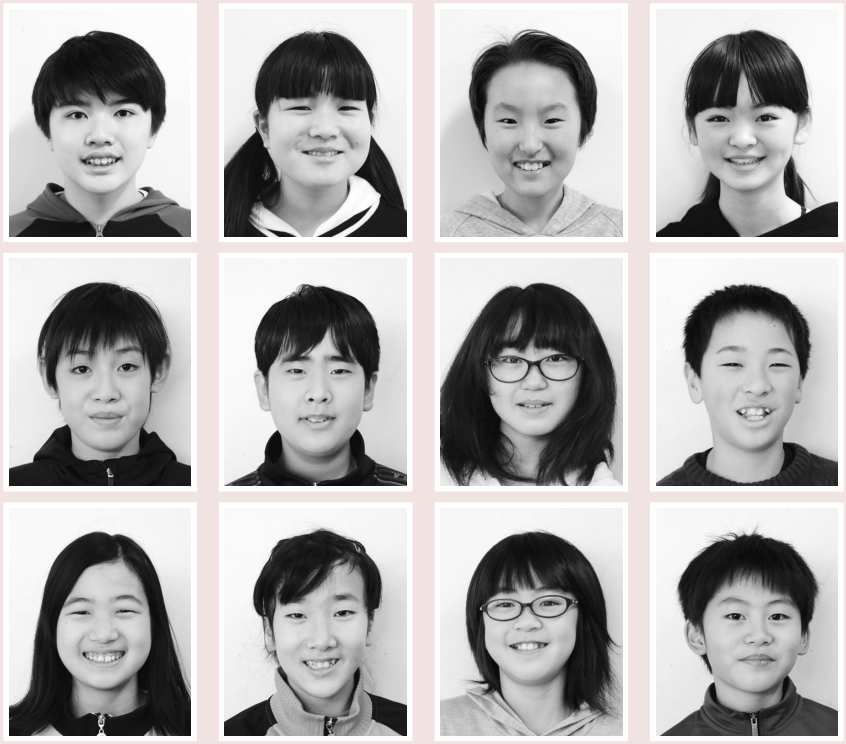
今年は子年 私たちの年



今年12歳になる子年（平成20年生まれ）の町内小学校児童に「将来の夢」を寄せていただきました。

将来の夢

大島小学校　6年
藤村琥太郎（こたろう）

ぼくはまだ将来の夢が決まっていません。自分がなんの仕事がやりたいかと言うと人の役に立つ仕事をしたいです。理由はまだこの世の中には困っている人がたくさんいるからです。自分は世の中の困っている人をなくしたいです。

例えば老人ホームの職員になったら、たくさんのおじいさんやおばあさんに楽しんでもらいたいです。

次に医者になったら、必死に病気とたたかっている人をなおしたいです。

僕の夢

小島小学校　6年
佐野琉心（るい）

僕の将来の夢は消防士になることです。なぜ消防士を目指そうと思ったかというと、札幌に住んでいた時、家の近くに消防署があり、毎日のように祖母と一緒に見に行っていたからです。実際、消防士の人たちが火事の現場にかけつける姿を見ることもあり、そのうち、自分も人を助ける仕事がしてみたいと考えるようになりました。

松前町の安全を守れるような消防士になるという夢を実現するために、僕はこれからちゃんと学習に取り組み、仕事をするのに必要な体力もつけていきたいと思っています。そして、子どもたちに夢を与えられるような消防士になりたいと思います。

将来の夢

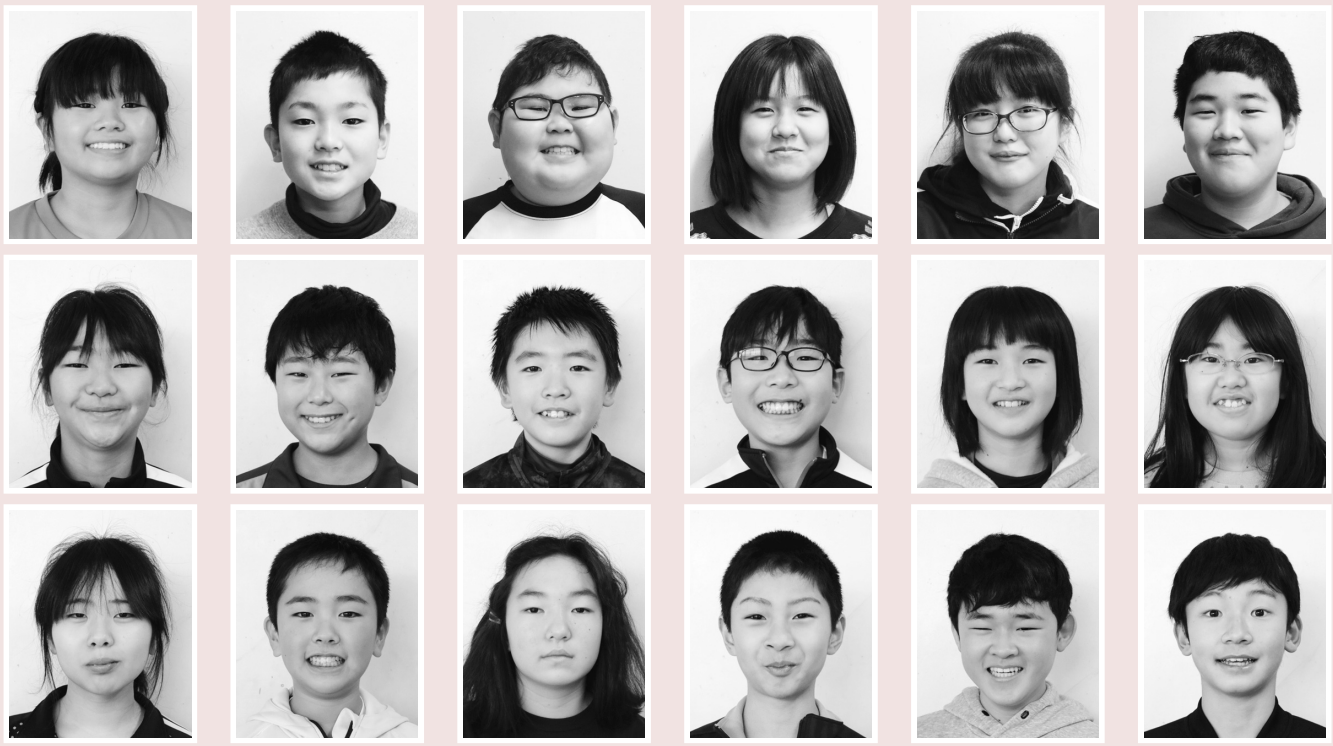
松城小学校　6年
藤井毅（たけし）

ぼくの将来の夢は、プロ野球選手です。理由は、3年生から少年団に入り、色々な守備をやって楽しい球技だと思ったからです。

ドラフト会議をテレビで見て、自分の名前が呼ばれる瞬間を味わってみたいと思いました。

中学校へ行っても野球を続けたいと思いますが、松中は合同チームです。ぼくは松中だけで試合がしたいと思っているので部活に入るか迷っています。だから松中の人数が増えてほしいです。

また、サッカーコートが整備されたように、ぼくが好きになった野球をしやすい環境をつくってほしいです。



私の将来の夢

大島小学校　5年
渡辺想空（ここあ）

私の将来の夢は、看護師になって注射を打ったり入院している人にご飯を持っていくことです。理由は、看護師さんに、「看護師にむいているからやってみたら」と言われてやりたくなって人を助けたいと思ったからです。あと、あこがれだったからです。看護師の資格をとるのは難しいと思いますが、必ず看護師になって患者さんを笑顔にさせたいです。

また、私もずっと笑顔でいたいです。あと、お母さんやお父さんの具合が悪くなったりしたらこれまでの恩返しをしたいです。

私の夢

小島小学校　5年
星晴子（はるこ）

私の将来の夢は助産師になることです。私の母から昔産婦人科で働いていた時の話や、私や妹を出産した時の話を聞いているうちに出産に関われる助産師になりたいと思うようになりました。助産師の夢をかなえるためにがんばりたいことは２つあります。

１つ目は勉強です。母は看護師になるために努力して試験に合格したと聞いたので、私も苦手な勉強にくじけることなく、努力し続ければいつかは合格できるという気持ちを忘れずにがんばりたいです。２つ目は医学に関係のある本をたくさん読み、自分の知識を増やしていきたいです。

私は助産師になったら妊婦さんに寄り添える人になりたいです。夢をかなえるために最後まであきらめずチャレンジし続けます。

将来の夢

松城小学校　5年
荒谷蘭（らん）

私の将来の夢は、陸上選手になることです。私は今、陸上少年団に入っていて、毎年、大会に出ています。大会本番になると、すごく足が速い人たちがたくさんいます。その時、かならず思うことがあります。

「もっと速くなって、他の人たちに負けたくない！」

練習でもその思いを忘れずに取り組んでいます。

夢は陸上選手。この夢だけはあきらめません。

陸上選手になったら、長距離を走りたいです。今は、中距離の８００ｍを走っていて、８００ｍよりも長い距離を走れるようになりたいです。